

## 令和5年度 第5回 石岡市総合計画審議会 会議録

### 1 会議の名称

令和5年度 第5回 石岡市総合計画審議会

### 2 開催日時

令和5年12月21日(木) 午後1時00分から午後2時20分

### 3 開催場所

八郷総合支所1階 101・102・103 会議室

### 4 出席者氏名

別紙「令和5年度 第5回 石岡市総合計画審議会出席者」のとおり

### 5 議題

#### (1) 石岡市総合計画第2期基本計画の策定について

- ① 政策目標7「産業・経済」、政策目標8「地域・文化」、政策目標9「チャレンジする市役所」の修正について(資料1・2・3)
- ② 第2期基本計画における各指標について(資料4)
- ③ 石岡市総合計画第2期基本計画(案)について(資料5)

### 6 会議内容

#### 【次第1】 開会

事務局

これより、令和5年度 第5回 石岡市 総合計画審議会を開会します。

本日、3名の委員が遅れるとの連絡をいただいています。現在の出席委員は15名であり、本審議会条例第6条第2項に規定する定足数を満たしておりますので、この会議は成立していることをご報告申し上げます。また、会議につきましては、石岡市総合計画審議会傍聴要綱に基づきまして公開とさせていただきます。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。始めに、会長よりごあいさつをお願いいたします。

#### 【次第2】 会長あいさつ

会長

本日もどうぞよろしくお願ひする。

事務局

それでは議事に入ります。これ以降の議事進行につきましては、会長にお願ひ申し上げます。

## 【次第3】 議事（1）石岡市総合計画第2期基本計画の策定について

## ①政策目標7「産業・経済」、政策目標8「地域・文化」、政策目標9「チャレンジする市役所」の修正について(資料1・2・3)

会長                    それでは、次第に基づいて、議事を進める。本日の議事は、これまでの審議を踏まえた、第2期基本計画の計画案が中心となる。はじめに、資料1から3「政策目標7 産業・経済」「政策目標8 地域・文化」「政策目標9 チャレンジする市役所」の内、前回の審議結果を踏まえた修正について説明をお願いします。

事務局                それでは、議題① 政策目標7「産業・経済」と政策目標8「地域・文化」、政策目標9「チャレンジする市役所」について、前回の総合計画審議会でのご意見等を踏まえた修正内容をご提示している。なお、修正した内容については、資料中に黄色のマーカで記載。

はじめに、資料1「産業・経済」。2ページ目の基本施策「商工業の振興」。成果指標について、ご意見を踏まえ修正した。商工業の振興全体を図るため、既存の生活サービス関連の創業件数のみの指標ではなく、新たに、市内の事業所数、市内事業所における従業員数を追加。こちらは、経済センサス活動調査により、成果効果を図っていくものになるが、過去の実績を基に、今後の目標設定をしている。

また、現状・これまでの取組において、新型コロナウイルスの影響や、ワークライフバランスに関しては、この施策のみならず、全体的に言えることであるとのご意見を踏まえつつ、一部修正を加え、商工業の振興を図っていくために、働き手のワークライフバランスにも特に配慮していく必要があることから記載を継続している。ワークライフバランスの全体的な内容としては、政策目標8の基本施策「多様性の尊重と共生社会の構築」において、主要な取組として位置付けている。

続いて、6ページ「農業の振興」。農地法の一部形成により、農地の売買・賃借をする場合に、譲受人の50アール以上の耕作面積要件が不要となったことについて、現状に記載し、総合計画内としても明確。また、耕作放棄地への対策として、耕作放棄地を再生した場合の支援制度を設けているが、現状を把握するために、再生した耕作放棄地面積のグラフを追加。

7ページの課題では、兼業農家への支援や後継者不足に対して、担い手の確保・育成、農地の利用の最適化などについて、引き続き取り組みを強化していく必要があると整理した。

続いて、12ページ「里山の保全対策」。成果指標について、経営管理がされている森林の面積として全体像を把握したうえで、目標としていく必要があるとのご指摘を踏まえ、石岡市森林整備計画上で、経営管理をしていくものとしている森林面積をベースとして記載を修正。このほか、市内全体の森林に対しては、順次所有者への意向調査などを行っており、経営管理に適しているものについては、適切な時期に、新たに計画に組み込んでいく。

現状・これまでの取組では、里山景観の美しさを守るという視点を新たに加えつつ、

課題においても、担い手も含め、景観の維持が課題となっていることを整理した。

コラムに記載していた、イノシシの活用に関しては、現状、市内でジビエの活用ができていない状況を踏まえ、記載を控えている。現状や課題に取組の方向性が謳えないか調整を続けている。

産業・経済においては、その他の様々なご意見を頂戴した。有効求人倍率や企業増設件数の実績が増えていることによる、税収面への影響に関しては、固定資産税の評価替えや法人税課税標準額の変動があることなどから具体的な数値は算出が困難だが、労働生産性の向上を目的とした中小企業の税制支援などにより、一定の効果は出ている状況。また、長期的な視点に関するものは、基本構想上整理しており、基本施策上は、取組の方向性の記載をしつつ、事務事業レベルにおいては、担当課にも内容を伝え、今後の取組を推進する。

続いて、資料2「地域・文化」。2ページ、協働の場づくり、協働人材の育成の現状において、誤解がないよう、過去に実施していた石岡未来創造塾の記載を削除した。また、課題にある、オンラインによるコミュニティ活動についても、積極的に取り入れる必要がある一方、コミュニティの在り方として、様々な形がある中、オンラインのみが手段ではないという趣旨を踏まえ、記載を修正。対話を重視し、様々な方から意見をいただける環境づくりや、コミュニティ維持、新たなコミュニティの形成に向けて取組を進めてまいる。

続いて、6ページ以降、「文化芸術の推進」については、資料最後の8ページの参考指標の目標値を修正。その他のご意見等に関しても、担当課と共有させていただきながら、今後の取組を進めてまいりたい。

最後に資料3「チャレンジする市役所」。基本施策「組織・人材マネジメントの充実」では、5ページに研修の理解度という指標を追加。比較的高い水準で推移している研修の満足度ではなく、人材育成のために理解度という視点で今後の進捗を図ってまいる。

7ページでは、「課題分析に基づく政策立案の推進」の主要な取組および参考指標を修正した。今年度から実施している、人口減少プロジェクトチームでの政策立案を中心として、引き続き、分野横断的にEBPMを推進してまいる。

その他、ご意見を踏まえつつ、引き続き、組織・人材・経営・財務マネジメントの連携強化や改善を図り、取組を進めてまいる。

説明は以上。

- 会長                    ただいまの説明に関してご意見ご質問等あれば、よろしく願います。
- 委員                    資料1「産業・経済」の6ページ、グラフの単位が記載されていない。
- 事務局                 失礼した。記載させていただく。

委員

チャレンジする市役所の4ページ、自主研究会の支援について、職員だけでなく、市民と一緒に受講できるとよい。月1回、オンラインの併用などの対策を行い、職員だけに絞らなくてもよいのではないかと。同様に、研修制度の充実についても、広報やDXに関する研修会など行うと思うが、石岡市内の企業などもDXや広報の分野の研修は、関心が高いと思う。企業としてもどうやって入れていけばよいかと思っている部分もあるので、一緒にできる活動ができれば取り組んでいただきたい。市民協働、市民参画の機会が増えるのではないかと。

地域文化の2ページに記載がある、石岡未来会議について、私も何回か参加しているが、若手の市職員も参加してもらえたら市民の声を直接聴くことができる。ファシリテーターなども含めて、若手職員の研修の場にもなればよい。

事務局

研修制度の充実について、市民などと一緒に行うということは、地域文化、市民との協働、産業経済に関わる分野なので、担当課と調整させていただきたい。

2点目の未来会議については、コミュニティ推進課が実施しており、毎年度テーマを決めて実施している。担当課にも伝えていきたい。

委員

先ほどあった、資料1「産業・経済」の6ページ、グラフの単位はヘクタールである。耕作放棄地の面積が6,000ヘクタールあると伺った。このグラフでは、平成29年からの累計で、全体の0.25%しか取り組めていない。この休耕地をどのように活用していくか、施策としてご検討いただきたい。大きな問題である。安全安心にも影響がある。

資料2「地域・文化」の4ページに市長へのたよりが記載されている。今時、郵送のみの対応である。ぜひ電子化していただきたい。また、現在の体制では、アンサーバックが見つからない。意見は募っても何も反映されていないのであれば、みんな意見を言わなくなる。すべてにアンサーバックするのは大変だと思うが、何らかの形で開示をしていただきたい。

資料3「チャレンジする市役所」では、本日の資料では基本施策1～3の修正の提示がある。4～6は修正がないという理解でよいか。

事務局

前回の会議で、耕作放棄地の面積を6,000ヘクタールと申し上げた。正しくは600ヘクタールである。修正してお詫び申し上げる。

市長へのたよりについては、郵送のみでなく、メールでも受け付けている。アンサーバックについては、ご本人には差し上げているが、他の方に内容を公開していないので、担当課とも調整したい。

チャレンジする市役所の基本施策4～6については修正していない。

委員

600ヘクタールだとしても2.5%しか進んでいない。それでよいというわけではないので、検討をお願いする。市長へのたよりについては、メールでも受付している内容が見つからなかった。きちんと周知した方がよい。

- 委員 資料1「産業・経済」の7ページ。担い手の確保育成や農地利用の最適化とある。このような書き方をされると、アクションプランはどうなっているかと伺いたい。これに限らず、全く示されていない。文章だけで書いていて、誰が、いつまでに、何をやるか見えてこない。問題提起のみで、どうするかが何もない。きちんと考えているのか。
- 事務局 総合計画については、将来像を実現するための指針という形になっており、あらゆる市の計画の上位にある。個々の内容については、関連計画を策定し取り組んでいる。また、事務事業評価で、どれくらい予算を使い、どれくらい成果や効果があったかを公開している。それをもって PDCA を進めており、全体を含めて総合計画ということで推進している。
- 委員 個別の計画は記載があるが、我々にも、計画に対して、これはこういう形で進めたいと示してほしい。もう少し考えてほしい。
- 事務局 農業振興計画については、農業振興地域整備計画では、10 アール以上の優良な農地について農用地として整備している。10年に1度の見直しで、昨年見直しを実施した。
- 委員 言葉ではなく、図などで、わかりやすくしてほしい。
- 会長 書きぶりを改めたほうがよい、という意見ではないか。個別の話ではなく、書き方を考慮してほしいという内容であると理解する。
- 委員 PDCAを回していることに対して、事務事業評価を拝見したが、極端に言うと、2億円使っている事業も、100万円の事業も同じ書き方になっている。それも、文字数について40文字程度で反省が書かれている。次に何をすることが、私は何も見えなかった。PDCAを回しているという感覚が、我々民間とは違うのか。1億、2億使っている施策と100万、200万の施策を同じ扱いするのは違和感がある。必要だということで予算を投資していると思うが、それだけの書きぶりが必要である。見たときに、きちんと伝わるようにすべきである。
- 会長 一朝一夕には動けないところ。声を上げつつけて、議論していくことで記録にのこるので、全く意味のないことではない。
- 事務局 事務事業評価シートの書き方については、予算書の事業単位で記載をしている。事業費に幅があるが、予算から決算の説明を行っていくため、このような書き方になる。予算額によって評価を分ける必要があることについてはご意見としていただく。
- 会長 いただいた意見については取りまとめをお願いする。

## 【次第3】 議事（1）石岡市総合計画第2期基本計画の策定について

- ② 第2期基本計画における各指標について（資料4）
- ③ 石岡市総合計画第2期基本計画（案）について（資料5）

会長 続いて、事務局より、第2期基本計画(案)として、資料4および資料5について、一括して説明をお願いします。

事務局 引き続き、事務局より、資料4および資料5についてご説明する。

前回の第4回総合計画審議会までに、委員の皆様からは、政策目標ごとに各基本施策に対するご意見をいただいた。

資料4については、これまでのご意見を踏まえて、最終調整をしたうえで、基本計画内の各指標を一覧表の形で示している。

特に、「基準値より増」などとしていた指標については、具体的な数値目標として、改めて設定し、資料中に赤字で表記をしている。中でも、市民意識調査の結果によるものについては、本来であれば、過去の実績から個別に分析、推計をたてて、目標設定すべきところだが、市民意識長が始まって2年という短い期間の中で、一定の基準を設けて、数値目標とした。

また、「基準値を維持」するとしていた指標については、基準値と同様の値を入れ込む形で、数値化した。

それ以外の文言で目標設定していた指標、例えば、「必要に応じて調査を継続」などとしていたものについては、「参考指標」としての位置づけではなく、「参考値」として、主要な取組の進捗度合いを示すように、全体修正をかけている。

なお、当初お送りしていたものから、最終的な庁内での調整を経て、一部修正をしている。修正した主な部分として、観光振興計画の見直しに伴い、1ページ下段の30番をはじめとする観光関連に関する指標、立地適正化計画の見直しによる居住誘導区域の変更に伴い、3ページ中段の95番の指標、創意ある学校教育の推進における指標の再検討結果による修正として、7ページの195番から197番の指標、10ページの239番にあるふるさと納税額の目標値など。

資料5は、第1回目から第4回目の審議会で、これまで示してきた政策目標ごとの修正にあわせて、全体的に字句や体裁等を整え計画案としている。各指標に関しては、本日修正版でお示した資料4を基に、第2期基本計画(案)に一致させ、パブリックコメントを実施する。229ページ以降には、総合戦略を位置づけている。第1回の審議会でもお示したが、今回の基本計画から、地方創生をテーマとした総合戦略を一体化させ、人口減少対策やデジタル化の視点を踏まえつつ、効果的効率的な施策展開を図る。総合戦略の内容については、各基本施策の内容と連動する形となっており、数値目標やKPIなどは、それぞれ、第2期基本計画内の、成果指標や参考指標と同様のものを落とし込む形で、進捗管理の効率化、重点化を図っている。なお、総合戦略部分については、石岡市ふるさと再生会議において、外部有識者の方々のご意見をいただいております。パブリックコメントに向けて、適宜文言等の修正を行う。

会長

事務局より、修正版の資料4および資料5の説明があった。

今年度に入り、本審議会として4回、各政策目標についての議論を重ねてきた。委員の皆様からのご意見などを踏まえて、「第2期基本計画(案)」が事務局から提示されている。また、今回からの総合計画には、総合戦略が組み込まれている。総合戦略に関しては、先日、別の会議である、ふるさと再生会議において検討してきた。

全体をとおして、ご意見や、ご質問があればお願いする。

委員

指標について、検討いただきたいことを申し上げる。何項目修正があったか。結論から言うと、修正があったのは、主に市民意識調査によるものである。それは、何かをやった結果から出てくる話であり、この資料だと、市民の意識を変えるために今までやってきた施策は変える必要はないと言える。ほんとにそれでよいか。

例えば、情報発信では、7項目変更があり、すべて市民意識調査によるもの。皆さんが何かやっていく指標ではなく、結果指標が変わっている。指標を上げるために市として、重要な施策、実行すべき戦術を論議して、それをやることで、意識調査の結果に表れる。検討していただきたい。言い方を変えると、これをやって、市民から見て石岡市がよくなったと感じるものを明示してほしい。

事務局

指標についてご意見をいただいた。市民意識調査の結果によるものは、もともと基準値より増などと文言にしてきた。過去の審議会でも意見としていただいていたが、目標値の設定の仕方として、基準値より増はどうなのかということ踏まえて、検討を進め、一定の基準を設けて数値化したもの。

その他の指標の修正がされていないということは、過去4回の審議会で議論し、ご意見を踏まえて更に修正したものを示している。その結果を踏まえて、本日の最終版に落とし込んでいる。最終的に庁内調整の結果、改めて修正を加えたものは、先ほどご説明した、観光振興、立地適正化、教育の部分の数か所。それ以外の指標はこれまでの審議会の結果を踏まえて記載している。

市民意識調査による数値目標を設定しているが、本来は、数値の上昇に対して、どういった事業があり、どのくらいの予算を投入しているか、因果関係の元でお示しすべきものであるが、令和4年、令和5年と第1期基本計画を取り組んできた中で、これまでの施策の取組と、市民意識調査の結果の因果関係を数値で結びつけるのが非常に困難。そこで、一定の根拠を基に数値目標を設定し、それらの成果効果を今後見極めることで、PDCAを回していくとする。

委員

数値目標を市民の意識調査に設定することは素晴らしいことで、頑張らないといけなという決意は感じた。令和4年度、令和5年度もリーディングプロジェクトという名前で実施しているが、それと市民意識調査のつながりくらいは明確にさせていただいて、継続的に施策と目標と市民の意識の変化、PDCAを回していただき、よりよい目標にしてほしい。

資料5「第2期基本計画(案)」の中の「チャレンジする市役所」で、現行の計画では、情報システムの標準化・共通化数という参考指標は、令和2年度で0を 20 にする目標だったが、今回から指標がなくなっている。すべて達成したということか。

マイナンバーカードの申請率についても、当初の計画では令和5年度に100%であったが、非常にハードルが高いため令和9年度に伸ばしている。ぜひ、マイナンバーカード申請率を令和9年度に100%を目指していくためのマイルストーンを決めていただいで進めてほしい。というのは、令和5年6月時点での、石岡市のマイナンバーカード取得率は、全国1741自治体中、1202、真ん中以下になっている。令和3年から令和4年は26.7%伸びたが、令和4年から令和5年は2%くらいしか伸びていない。ぜひ、石岡市として取得率を上げるための具体的な施策を展開してほしい。

石岡市民へのアンケートによると、医療制度の充実、安全安心というのが、一番要望が多かったと記憶している。本年度の予算では、安全安心を具体的にどう伝えるか難しいが、防犯カメラ、防犯灯の予算、空家対策などについて、安心安全のために、ぜひ令和6年度の予算に見込んでいただきたい。もう少し全体像が分かったうえで、防犯灯や防犯カメラがいくつ必要か、それを実現するために、今年はこれだけ取り組むという予算の反映をしてほしい。

事務局

情報システムの指標を削除していることについて。以前は、情報システムの標準化共通化数ということで、基幹系の20業務、例えば、健康管理に関するもの、児童福祉、子育てに関するものなどについて、システム移行をしていくという指標であったが、ガバメントクラウドへの移行に取り組むことにより、削除して整理している。ガバメントクラウドの移行に関しては、国の方からも早期の移行が示されている。石岡市は手を挙げて、先日の議会でも予算が認められたが、先行してのガバメントクラウド移行を行い、早期に稼働する取組を行っている。

マイナンバーカードについて、11月末現在で、申請者の割合は85.6%、交付率は76.8%となっている。県内での順位は真ん中に位置づけている。申請をされている方の割合と交付の割合の差がある。以後は、マイナポイント事業が終了している中、更に申請率を上げていくことは、なかなか難しいところもあろうかと考えている。一方で、かなり普及しているため、国とも連携しながら、マイナンバーカードの利便性を高めていくという方向性で、今後の展開を考えている。

安全安心、防犯灯、防犯カメラなどのご意見について、現在、令和6年度の予算編成作業を行っている。ご意見としていただき検討をしていきたい。



- 委員 弱点はあるか。
- 事務局 人口減少プロジェクトチームでも弱点など踏まえて対応できる施策を立案中。
- 委員 他の市町村と比較しているというが、どのくらい比較したのか。人口が増えているところは、茨城県でもいくつかある。阿見町と境町は有名。そういうところとの比較はしているか。
- 事務局 茨城県内の自治体との比較もしているが、石岡市の地理的特徴、可住面積に対するインフラ整備の必要性、3世代の同居が比較的多いというような地域特性など、一概に比較することは難しいが、阿見町、つくば市もそうであるが、課税所得が高い自治体は比較的生産率も高い分析をしている。
- 委員 人口減少は歯止めなく下がっていくことになるが、石岡市として人口減少の歯止めはどこになるか。
- 事務局 人口の将来推計については、社人研での国の推計も今年の5月から6月に出されているが、全国的に減っていくということは、止められない状況になっている。出生と死亡の差である自然動態、転入と転出の差である社会動態に分かれている。高齢者が多いので、亡くなる方の数は多くなる。また、出生の状況は、石岡市もその他自治体も含めて、右肩下がりになる。この点について、今後改善は難しいと考えざるを得ない。一方、社会動態は近年改善傾向にあり、今後もこの調子が続くのであれば、プラマイゼロ、更に伸びていくと考えられるので、移住施策の強化や子育て支援の充実が重要と考えている。
- 進学や就職をきっかけに、市外へ転出する若い世代が減ること、それにより市内の母になりえる女性が減っていることが大きい。なぜ転出していくのか、若い方にとって、働く場、魅力的な職場が少ないことも要因である。例えば、就職説明会も行っているが、石岡市にどのような職場があるか認知してもらい取り組みなど、総合的に取り組んでいく必要がある。
- 委員 非常にわかりやすい説明。転入者が石岡市は増えている。非常に良いことだと思う。
- 医療に関連して、産科を令和13年度に開設という目標が設定されている。産科に対しては、3市で協議されると話していたが、かすみがうらは、3年後にはできる。3市で協議しても、3市の中で開設された場合は、石岡市での開設はないのか。合計特殊出生率や産科の目標設定が消極的である。危機感を持って取り組んだらどうか。転入者も石岡市には産科がないのかという話になる。

- 会長 他にご意見はあるか。
- 委員 地方創生石岡市総合戦略の中では、目標人口が設定されていた。今回は抜けている。必須項目であったかと思うが。
- 事務局 石岡市における人口ビジョンは、過去策定したものをそのまま使っている。その人口ビジョンを達成するための総合戦略という形にしている。
- 委員 人口ビジョンには目標があるということであれば、この冊子にも目標を乗せたほうがよい。
- 事務局 ご意見を踏まえた対応したい。
- 委員 これからパブコメに入ると思うが、現時点のホームページ上の記載では、意見の出し方など含めて、わかりづらい部分があるので、記載内容の検討をしていただきたい。  
これはパブコメで出すつもりでいるが、重点的なテーマについて予算を組むにあたり、すごいお金がかかるもの、あるいは100万もないもの、実質予算ゼロのもの、それは本当に重点化テーマなのかという気もする。それらを含めて、予算編成の際にそれなりの予算をつけていただいて、実行できるよう検討していただきたい。
- 会長 要望としていただく。
- 委員 既に予算要求は市役所の中ではされている。各担当課から要求され、財政課の職員が査定を行っていく。最終的に1月の中旬までに固める。今回審議している内容が予算に反映されるのは微妙なところ。行政として、基本的にはどの事業も大事である。金額の大小ではなく、小さい事業でも重要なものもある。今回出た貴重な意見を漏れなく反映できるような行動は、職員に対してもしていきたい。先ほど言ったように予算要求はすでにされているので、令和6年度予算に積極的に反映されるかは非常に微妙であるが、お願いはしていきたい。
- 会長 今後パブリックコメントを実施していく。最終調整をしてから実施していくことになるが、最終調整は、事務局と私に一任していただくことでご異議はないか。
- 委員 異議なし

【次第4】 閉会

事務局

長時間にわたり、慎重なご審議、また貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和5年度第5回総合計画審議会を終了いたします。会長からもありましたが、今後、計画案に対してパブリックコメントを実施いたします。パブリックコメントの結果と、それを踏まえた計画の最終案については、次回、年明け1月25日(木)予定の審議会にてご報告いたします。

詳しくは、後日改めてご連絡差し上げますので、よろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。